

離島巡りから地球のはしっこへ

大西 健路



『まもる』を製る!

代表取締役社長

大西 健路

Kenji Onishi



馬術部
離島巡り

宇都宮製作株式会社

Utsunomiya Seisaku Co., Ltd.

大阪府大阪市中央区谷町2丁目6番4号 谷町ビル6F 〒540-0012
TEL.06-7639-9900 FAX.06-7639-9910
E-mail k-onishi@u-seisaku.co.jp



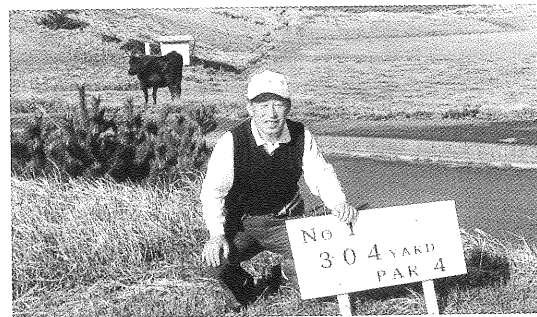
私の名刺には、出身-馬術部、趣味-離島巡りとなっている。この写真入りの名刺は弊社が平成25年に110周年を迎えた時に、社員が記念にいろいろ考えたものの一つです。各々の名刺には、各自が自由に書き込んでいるので、私は各自のコメントについては知らないのです。

ところで私の趣味の離島巡りですが、最初はちょっとしたキッカケから始めたのですが、やっているとなかなか面白いのです。島はたくさんあって、まだまだ道半ばです。島とは何かというと、国連条約によると「島とは自然に形成された陸地であって、水に囲まれ、満潮時に水没しないもの」とされて、大陸を除くので、オーストラリア未満で、グリーンランド以下のものを言います。さらに満潮時に周囲が100m以上となっており、それより小さいものは岩礁となります。その定義からいくと、日本列島は全ての領土が島となります。それでは少しつまらないので、日本離島センターには、これらの中から、北海道、

本州、四国、九州、沖縄本島の5島を本土とし、それ以外の6847島を島と言っています。そしてその大半が日本の南にあり、1位は長崎県で971もあります。

私は、離島に行くと何故かゴルフもしてしまいます。信じられないかもしれませんが、人のいるところには大概ゴルフコースがあるのです。一度でもゴルフをプレーした人は、面白さを忘れることが出来ないで、自作でコースを作ってしまうのでしょうか。私はそれを鋭い嗅覚で探り当てます。ゴルフ場と言っても、立派なものから、穴に細い竹がささっているだけのものまでありますが、それぞれクラブハウスらしきものも、あったり、なかったり。もちろん食事場所やトイレも無い所や鍵の掛かっている所も多いのですが、最初から覚悟をして、準備しておればOKです。コース案内やティーグラウンドの表示も無い所も多いのですが、そこは「蛇の道は蛇」でたいていは判断できます。

印象に残っている離島のコースは多々ある



のですが、上五島の宇久島にあるコースはセントアンドリュースと変わらぬ設えで、なんと無料でした。

人々の興味が湧く印象は、それぞれですが、私は振り返ると、アウトドア的なものに好奇心があるようです。島に限らず、けっこう極地に旅行したりします。例えば、北極圏に行くとオーロラを見たり、アフリカ・ケニアのサバンナのテント小屋で、猛獣の声を遠くに聞きながらワインを傾けたり、興味は尽きません。

南大東島に行ったときに感動的な言葉に出会いました。島の唯一の産業はさとうきびから作る砂糖です。海に囲まれているから、漁業を考えますが、島は太平洋の独立峰で、海底2000mから、表面に10数mだけ表れている沖縄本島から400km先の奇跡の島です。周りの海岸は切り立った断崖絶壁で一年中津波に襲われているようなもので、島の人海

に入ることはありません。泳ぐのもせいぜい島の内の沼ぐらいだそうです。

その砂糖工場の高い煙突に、大きな文字で『砂糖は島を守る。島は日本国土を守る』と書かれていました。日常、私たちがやり過ぎている大事なことを目の当たりをして、私は戦慄を覚え、地元の人たちの深い思いに感動いたしました。

私は生涯のうちに、地球上の全ての大陸に行き、いろんな人の想いに接してみたいと思っているのですが、早くいかねばと思っているのが、南極大陸です。南極と言っても、氷とペンギンだけではありません。オーストラリアの2倍、日本の37倍、富士山と同じぐらいの活火山もあり、砂漠もあり、世界で一番寒い場所です。大陸の移動期に遡れば、4000万年~5000万年前からの歴史が凍結されているようです。

極地に行く気力・体力などを考えると、あまり時間がありません。どなたか、ご一緒頂ける方を探していますので、よろしく願いいたします。

さて、5月に大阪ゴム商業会の会長を拝命いたしました時に「温故知新」を旨とし、業界の先達の足跡に沿っての活動をと申しあげました。自身のほうは、いろんな地域で生活されている方々と接することが出来ればとの思いで「温離知心」とでも表現して、少しでも人生の幅を広げることが出来れば喜ばしいと思っています。

みなさまには、このような拙文にお付き合いいただきまして感謝申し上げます。

宇都宮製作(株) 社長